



フットベースボールの一場面。  
転がってきたボールを思いっきり蹴る打者の生徒

今年の秋、本県において第17回全国障害者スポーツ大会愛媛<sup>えがわ</sup>つなぐえひめ大会が開催されます。

先日、県代表選手が決定し、県内特別支援学校から48人が晴れの舞台への切符を手にしました。選手には、全国から集まる仲間と全力で競い合い、思い出に残る大会にしてほしいと願っています。

さて、皆さんは「フットベースボール」をご存じですか。

ソフトボールに似たルールですが、次のような特徴があります。

▽投手は股の下からサッカーボールを両手で転がし、打者が蹴る▽捕球した野手が投手に返球したらボールデッド。塁間にいた走者は前の塁に戻る▽ツーストライク後、ファール3球でアウト

## フットベースボールで全国優勝目指す

攻撃側は常に全力疾走、守備側は余分な進塁を防ぐ素早いプレーが求められる競技です。

本校のチーム（県内唯一）は、在校生と卒業生、そして他校高等部の生徒で組織され、放課後は基本練習、土日や長期休業中には4時間の実践練習に取り組んでいます。

チームが発足し5年。本気の指導者の下、着実に成長し、発足当初は大量得点を奪われていた他県の強豪チームに勝利するまでになりました。また、今治市内の高校生に練習試合の相手を務めていただくなど、うれしい出来事もたくさん経験しました。そうした生徒たちの目標は「全国優勝」。その達成に向けて全校挙げて応援しているところです。

えひめ大会をきっかけに、県内の特別支援学校には、バレーボール、バスケットボールなどさまざまな団体競技が立ち上がりました。そこには卒業生だけでなく地域の障害者も参加し、余暇生活の充実の一助となっています。これらが今後の本県における障害児者のスポーツの普及、発展につながることを願っています。

（菅俊雄・愛媛県立今治特別支援学校校長）